

2. 河川の整備の基本となるべき事項

2.1 基本高水並びにその河道及び洪水調整施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量については，流域の人口，資産，面積等を勘案し，50年に1回程度の降雨により発生する洪水に対応するものとして，基準地点^{やまて}山手橋において $430\text{m}^3/\text{s}$ とし，これを河道に配分する。

表 2.1 基本高水のピーク流量等一覧表

河川名	基準地点名	基本高水のピーク流量 (m^3/s)	河道への配分流量 (m^3/s)
二河川	山手橋	430	430

2.2 主要な地点における計画高水流量に関する事項

二河川における計画高水流量は，基準地点山手橋において $430\text{m}^3/\text{s}$ とする。

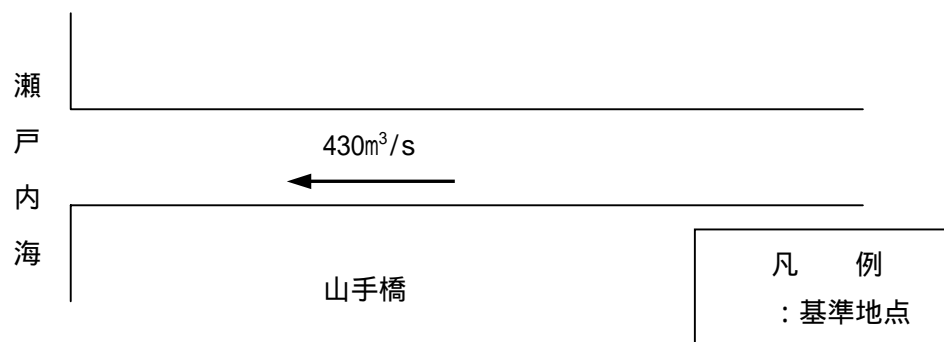


図 2.1 計画高水流量配分図

2.3 主要な地点における計画高水位及び計画横断形にかかわる川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び概^{おおむ}ねの川幅は次のとおりとする。

表 2.2 主要地点における計画諸元一覧表

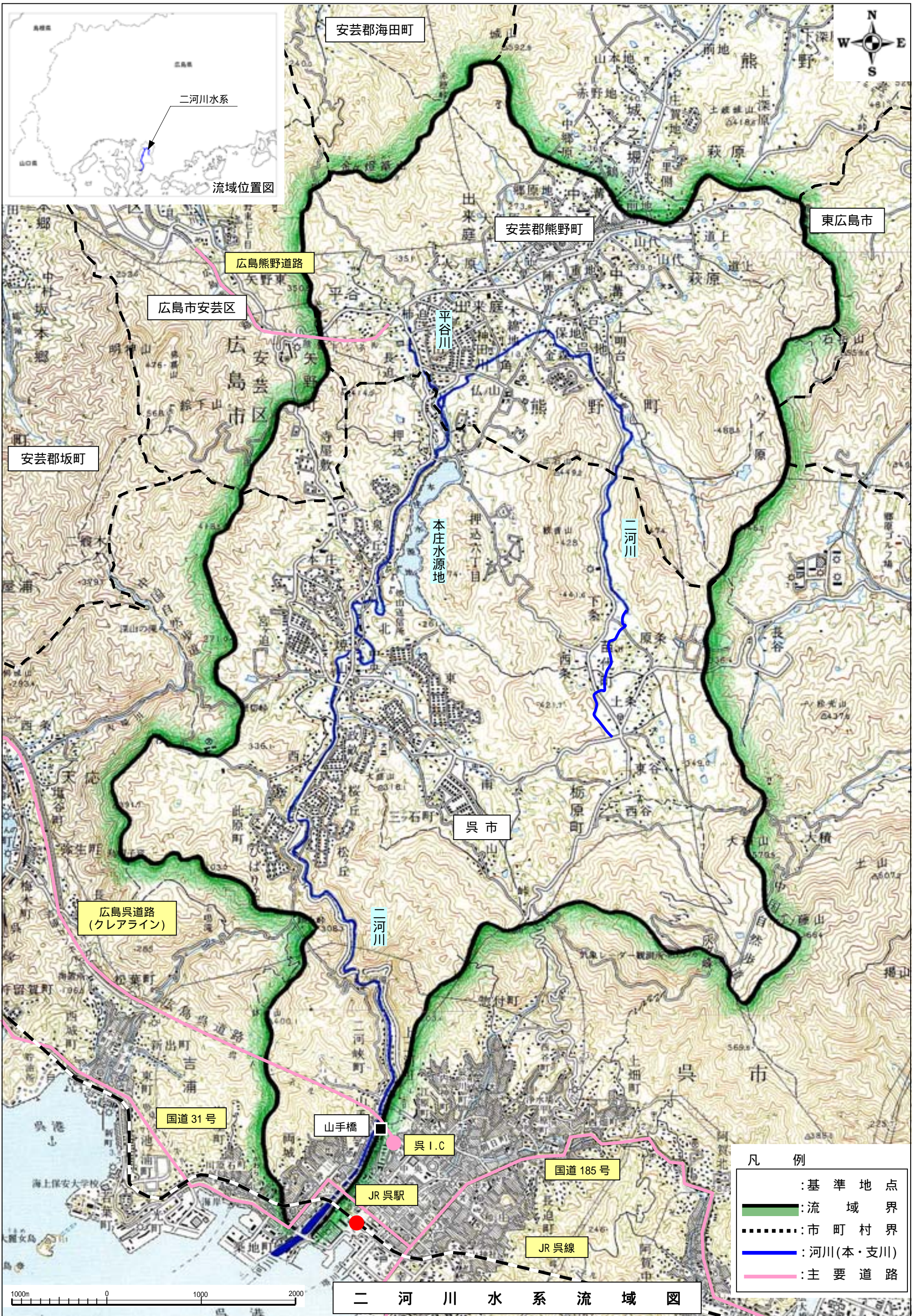
河川名	地点名	河口からの距離 (km)	計画高水位 T.P.(m)	川幅 (m)
二河川	山手橋	1.71	+5.98	40

(注)T.P. : 東京湾中等水位

2.4 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

二河川水系では、農業用水として24か所で取水され約80haを灌漑^{かんがい}しているほか、呉市等の水道及び工業用水に約0.6m³/sが供給されているなど、多くの水利用がなされているが、呉市等では、近隣河川である太田川からの上・工水の供給等も受けているため、平成6年の異常渇水時にも、住民の多大な節水協力や他河川も含めた取水調整により、大規模な渇水被害の発生を辛うじて回避することができた。

流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、このような既得の水利使用状況や、動植物の生息地又は生育地の状況、流水の清潔の保持、景観などの観点からの調査検討及び河川流況の把握を行った上で設定する。



安芸郡海田町

安芸郡熊野町

東広島市

広島熊野道路

広島市安芸区

安芸郡坂町

広島呉道路
(クリアライン)

国道 31号

山手橋

呉 I.C

JR 呉駅

国道 185号

JR 呉線

凡 例

(Symbol)	: 基準地点
(Symbol)	: 流域界
(Symbol)	: 市町村界
(Symbol)	: 河川(本・支川)
(Symbol)	: 主要道路

二 河 川 水 系 流 域 図

策定日及び告示日

策定日	平成 18 年 5 月 25 日
告示日	平成 18 年 6 月 22 日

「本書に掲載した次表の地図は、国土地理院長の承認を得て、5 万分の 1 地形図を複製したものである（承認番号 平 17 中複 第 251 号）。」

ページ	図 番	タ イ ト ル
8		二河川水系流域図